

ANTIQUUE

PURCHASE SEMINAR

骨董品買取セミナー

基礎知識編



戸塚古美術市場

骨董品買取セミナー

基礎知識編

目次

table of contents

第1章：骨董品とは何か

第2章：骨董品の定義

第3章：骨董品の価値

- ・「雑多な骨董品」と「単品で価格がつく骨董品」
- ・「雑多な骨董品」の見分け方

単品で価格がつく骨董品

- ・有名作家作品について
 - ・希少性、美術的価値が高い骨董品について
 - ・希少性、美術的価値が高い骨董品「家元書付」
 - ・希少性、美術的価値が高い骨董品「蒔絵」
 - ・江戸時代以前の生活用品（生活骨董）について
 - ・中国市場で人気のある骨董品について
 - ・中国市場で人気のある骨董品「堆朱^{ついでしゆ}」
 - ・中国市場で人気のある骨董品「鉄瓶」
 - ・中国市場で人気のある骨董品「石素材」「天然石」
- ・骨董品の状態と価値 / 価格の関係について

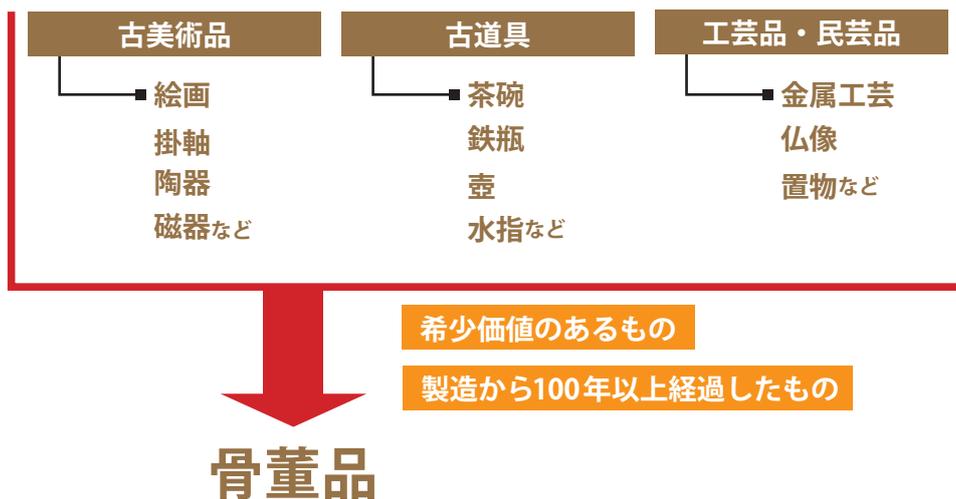
第4章：骨董品の売値

第1章 骨董品とは何か？

作られてから2～3年程度しか経過していないものを「骨董品」として取り扱うことは通常ありませんが、「骨董品」という言葉が示すジャンルやカテゴリーに明確な基準はなく、多くの場合、「骨董品」とは主に希少価値のある古美術品や古道具、工芸品・民芸品の事を指しています。

古美術品なら絵画や掛軸、陶磁器など、古道具なら茶碗や鉄瓶など、工芸品・民芸品なら金属工芸や仏像、置物などがその代表で、製造時点から100年を経過したものを一般的には「骨董品」として取り扱っています。

また、「骨董品」の売買金額は、商品の希少性や保存状態、コレクターの人気や需要によって大きく左右されることがあり、場合によっては製造当時の新品価格に比べて著しく高値で売買されることもあります。



絵画



掛軸



仏像



置物



茶碗



陶器



鉄瓶



水指

第2章 骨董品の定義

「骨董品」という言葉そのものには、「製造から何年以上が経過したものであるか」という定義はありません。

日本の骨董品収集文化が本格的に庶民の間に広まったのは江戸時代（1603年～1868年）、つまり今から約160年～420年ほど昔のこととされています。

明治時代（1868年～1912年）以降になると、「骨董品」という言葉そのものが、現在のように希少価値のある古美術品や古道具、工芸品・民芸品を指すようになってきます。

現在でも「骨董品」という言葉に明確な基準はありませんが、基本的に希少価値のある古美術品や古道具、工芸品・民芸品で、かつ、製造時点から100年を経過したものとして、骨董品を取り扱う業者間では認識されています。

骨董品の相場価格は、商品の製造年や希少性、保存状態やコレクターの需要などによって、骨董品を取り扱う業者間で決まります。

そのため、同じ商品でも売買のタイミングで価格の変動が発生したり、商品によって高額なものから安価なものまで、場合によっては単品では価格がつかないものまで存在します。

第3章 骨董品の価値

「雑多な骨董品」と「単品で価格がつく骨董品」

陶磁器、絵画・掛軸、武具・甲冑、家具・調度品、道具類、古銭、中国美術など、「骨董品」のジャンルは多岐に渡ります。

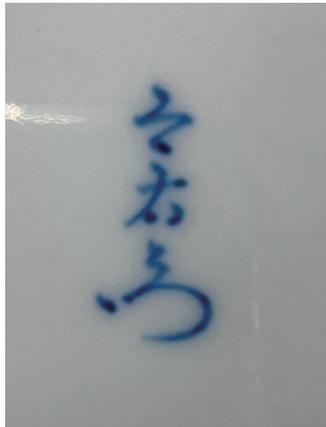
どのジャンルでも共通して言えることは、骨董品を価値・売買価格の面から考える場合、「雑多な骨董品」と「単品で価格がつく骨董品」に分けることができるということです。

雑多な骨董品

- ・ 単品では価格がつかないもの
- ・ 駅構内や商店街などで購入できるお土産品、贈答品、民芸品など
- ・ 複数の商品をまとめて（山・盆）取り引きされるもの

単品で価格がつく骨董品

- ・ 有名作家の作品
- ・ 希少性、美術的価値が高い骨董品
- ・ 江戸時代以前の生活用品（生活骨董）
- ・ 中国市場で人気がある骨董品 など



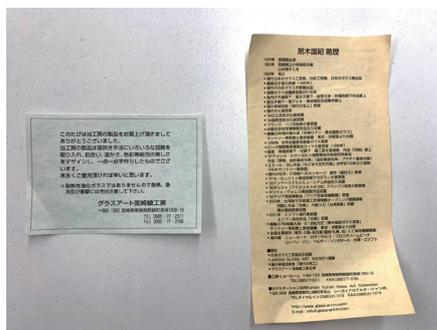
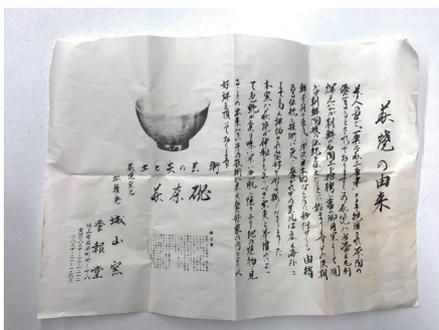
「雑多な骨董品」の簡易的な見分け方として、以下のような点に注意して商品を確認いただくことをおすすめしています。

1 紙の箱に入っている

価値の高い品物は殆どの場合、紐が付いた桐箱に入れて保管されていますので、紙箱に商品が入っているものは要注意です。

2 説明書きが付いている

「〇〇焼」「〇〇窯」や「作家についての説明書き」が同梱されているものは要注意です。



3 シールが貼ってある

「〇〇焼」「〇〇窯」などのシールが貼ってあるものは要注意です。



上記の場合、「量産品」・「雑多な骨董品」である可能性が高いです。

※複数点をまとめてでしたらお値段つけられるものもございます。

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品

有名作家作品について

知名度の高い有名作家による骨董品は「単品で価格がつく骨董品」として、非常に価値があります。



横山 大観



徳川慶喜 画



横山 大観



徳田 八十吉

横山 大観 (よこやま たいかん)

日本画家である横山 大観の作品の特長は、美術館・博物館など公共施設に保管されている以外に、個人所蔵が多いことにあります。富士山を好み、富士山を描いた作品は『心神』など実に2000点を超えます。

徳田 八十吉 (とくだ やそきち)

九谷焼の陶工である徳田 八十吉の作品の特長は、従来の九谷焼のように、絵柄(山水・人物・花鳥風月)ではなく、色の配色のみで作品を仕上げていることにあります。また、色は約70色を使い分け、色の濃淡(グラデーション)のみで作品を仕上げる技法「彩釉(さいゆう)」を生み出しました。

ただし、有名作家の作品ほど「贋作」も多く市場に流通しているため、買取の際には「箱書き」や「銘・印」、絵画の場合は「サイン」「共シール」「登録番号」など、「真作」と判定できる材料を入念に確認することが必要です。



陶器 箱書き



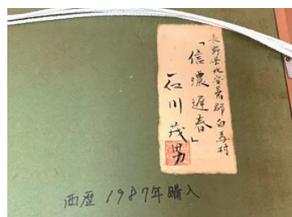
陶器 蓋裏 箱書き



鉄瓶 銘



絵画 サイン



絵画 共シール



絵画 登録番号

共シールとは

共シールは、その作品が真作であることを証明するものであり、一般的には日本画に用いられ、落款と作家直筆の作品名およびサインで構成されています。共シールの書式に決まりはありませんが、1つの作品に2枚の共シールを作成して、1枚は作品の裏面に、もう1枚は額の裏面に貼り付けられます。

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品
有名作家作品について

人間国宝の作品は価値が高いですが、「本人作」と「数物」があり、「数物」は「本人作」の1/10程度の価値になります。

aucfan 国内最大級のショッピング・オークション市場株式会社
オークファンの使い方 | 出品テンプレート | よくある質問 | プロPlus会員の方はこちら | オークファンとは？

人間国宝作品の情報

「人間国宝作品」は205件の商品が出品されており、直近30日の落札件数は1件、平均落札価格は12,800円でした。オークファンでは「人間国宝作品」の販売状況、相場価格、価格変動の推移などの商品情報をご確認いただけます。

新品参考価格 **34,403 円**

オークション平均価格 直近30日: **12,800 円** 1年前: **価格を表示する**

[Twitter](#) [Facebook](#) [Bookmark](#)

「人間国宝作品」の商品一覧

 <p>2370 益子 人間国宝 鳥 阿達三 鶴文急須急須...</p> <p>20,000 円</p>	 <p>■和装 竹地紋丸蓋「長野裕 (二代長野埜志)」(共...</p> <p>120,000 円</p>	 <p>■人間国宝1995年以前の作 品 共箱付! 加藤卓男 「ラ...</p> <p>100,000 円</p>	 <p>■昭和36年 第八回 日 本伝統工芸展 (1961年10...</p> <p>700,000 円</p>
 <p>◇ 十二代中里太郎右衛 門・中里無庵 唐津茶碗...</p> <p>800,000 円</p>	 <p>◇ 本物保証 金城次郎 魚紋マカイ 共箱 1枚焼...</p> <p>100,000 円</p>	 <p>●未使用と思われる 表面 【マジョール美術】石黒...</p> <p>200,000 円</p>	 <p>●貯蓄品 未使用 東京 の百貨店にて購入 【マ...</p> <p>330,000 円</p>

オークファンへようこそ

オークション・ショッピングサイトの商品の取引相場を調べられるサービスです。気になる商品名で検索してみましょう！

キーワードを入力

[人間国宝作品を出品する](#)

[人間国宝作品を分析する](#)

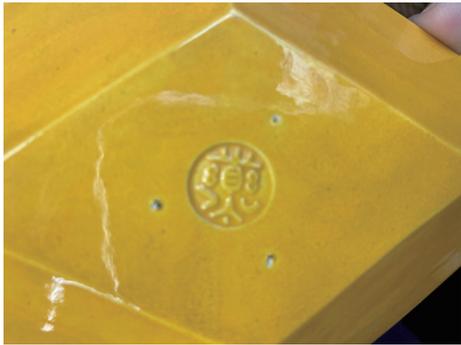
[人間国宝作品の出品を通知する](#)

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品
希少性、美術的価値が高い骨董品について

希少性があるということは、その骨董品の価値を高めます。
有名作家による逸品は数が少ないため、希少性が高く、その作家の知名度との相乗効果で、骨董品としての価値も非常に高いものとなりやすいです。

茶道具においては、家元や茶人の書付などがあることで道具の歴史の証明となり、価値が上がります。



惺齋書付 菱皿

また、地域、図柄、古さによっても、骨董品の価値は変わってきます。
例えば、製造当時は人気になかったために市場に流通した数が少ない商品が、後に再評価されて、大きな価値を有するということがあります。
無銘の商品であっても、手間を掛けた細工が施してある商品や、出来の良い商品は、価値が高い骨董品として評価されることもあります。
銀製や錫製の商品も、骨董品の業者間では比較的高額で取り引きされています。



銀器セット



錫 茶入



蒔絵 文箱

せいさい
惺齋
生没年：
1863年(文久3)～1937年(昭和12)
家元在位：
1892年(明治25)～1937年(昭和12)
表千家 12代
ろくろくさい
碌々齋 (表千家 11代) の子

やきもの、書画、茶杓などの茶道具など、作品本体に「共箱」が付いていない場合は、美術品としての価値がかなり減ってしまうものがあります。

この共箱文化は、日本独特のものであり、海外の骨董品ではあまりみられません。

作品本体に付属する箱の「箱書き」に有名宗匠や茶人、大名の筆跡が残されているなど、古箱付の茶道具であれば、市場価値は上がり、価格は高額となります。

箱の種類は、骨董の世界では大きく4種類に分類することができます。

箱書には格があって、次のような順番になっています。

書付箱

>

共箱

>

極め箱

>

合箱

書付箱

茶道の家元や高僧、大名など **権威のある人物が作品の品名を書いた箱**を「書付箱」と言います。

作家物のやきものや書画などは、原則として作品を納める箱も同時に作られます。

共箱

陶器の製作者の名前や作品名が記され、作者の印が押されている箱を「共箱」と言い、それ自体が大きな価値を持っています。

陶器などを守るためのものであり、かつ、そこに制作者名や作品名が入っていることにより、中身が確かに制作者のものであるということを証明することができます。

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品

希少性、美術的価値が高い骨董品「家元書付」

楽焼の茶碗は、楽家の当主が制作し、茶道の家元が銘を付けて「箱書き」を書きます。

「箱書き」は、作者と権威ある人が中身を保証するという記録です。また、「箱書き」は道具の歴史や銘の由来を記録して、「誰が所有した」「どこで使われた」等、その道具の背景にあるエピソードを後世に伝える役目も担っており、そうしたエピソードがあることも道具の価値を高める要因の1つとなっています。

楽焼

轆轤（ろくろ）を使用せずに、手とへらだけで成形して造り、焼き上げたものを楽焼と言います。

楽家

楽家は、茶碗土を務める家系で、代々の当主は「楽吉左衛門」を襲名します。



表千家 十二代 惺斎



表千家 十三代 即中斎



裏千家 十五代 鵬雲斎



武者小路千家 十三代 有隣斎

極箱

作家の親族・後継者、鑑定者が、本人の作品であると認定した箱を「極箱」と言います。

箱には鑑定・認定した人の箱書きがあり、評価としては「共箱」と同等の扱いとなります。

合箱

作品が本来の正しい箱ではなく、いかにもそれらしい別の箱に入っていることがあります。この場合に使用されている箱を「合箱」といいます。

共箱などに用いられている箱の素材は、現在では「桐」が主流となっています。「桐」が素材として使われるようになったのは江戸時代中期以降とされ、江戸時代前期・中期までは「杉」の箱におさめられることが多かったようです。

江戸時代中期までの古いやきもの場合は、杉の箱に購入した年銘などが書かれていることが多く、江戸時代前期に活躍した茶人などの箱書きが「桐」の箱に書かれていることはほとんどありません。

言い換えると、桐の箱に江戸時代前期までの年銘のある箱書きがある場合は、偽物である可能性が高いということになります。箱書きが重要視される茶道具では、箱の贋作も多く出回っていますので、素材の知識も、箱を鑑定する上で役に立つ事項のひとつです。

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品
希少性、美術的価値が高い骨董品「蒔絵」

「蒔絵」^{まきえ}とは漆器の代表的な加飾技法の一つで、漆器の表面に漆で絵や文様、文字などを描き、乾かないうちに金や銀などの金属粉を蒔いて器面に定着させる技法、またはその技法を用いて作られた漆器のことを指します。

漆器の代表的な加飾技法には、蒔絵の他に、「平文」^{ひょうもん}「沈金」^{ちんきん}「螺鈿」^{らでん}があります。

「平文」^{ひょうもん}：金銀の薄板を定着させる技法、またはその技法を用いて作られた漆器。

「沈金」^{ちんきん}：漆器表面に溝を彫って金銀箔を埋め込む技法、またはその技法を用いて作られた漆器。

「螺鈿」^{らでん}：夜光貝、アワビ貝などを文様の形に切り透かしたものを貼ったり埋め込んだりする技法、またはその技法を用いて作られた漆器。



平文 棗(なつめ)



蒔絵 文箱



螺鈿 架台



沈金 文箱

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品
江戸時代以前の生活用品（生活骨董）について

生活用品でも江戸時代以前など古い物は生活骨董として価値ある骨董品が存在します。

古い物でも、良いものは綺麗な状態を保っています。

形、色、紋様だけで時代を判別する方法は、言葉で表現するのは難しく、多くの知識と経験が必要です。

五客、十客、十五客と数が揃っていないと価値が下がります。

6寸皿より7寸皿の方が使い勝手がよく、人気があります。



染付 花入



染付 蓋付茶碗



青磁 大皿

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品
中国市場で人気がある骨董品について

近年、骨董品の市場にも経済力を持った中国人バイヤーが出入りするようになりまし

た。中国人バイヤーの多くは中国の骨董品はもちろん、日本の骨董品も高額で落札している姿がよく見られます。

中国には「写しの文化」というものがあるとされています。先人の高い技術や手法を後世でも受け継ぐというもので、いわゆる贋作やコピー品とはまた違う価値があります。

また、日本の抹茶文化と違い、中国は古くから煎茶の文化であるため、煎茶の道具も中国で人気が高い骨董品の1つです。

国や地域の文化の違いによっても評価の基準が異なるため、骨董品の査定には専門の知識が必要になります。



蛤 碁石



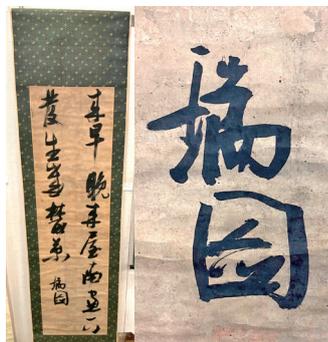
石もの 山



堆朱 高卓



金龍堂鉄瓶



張端圖 軸



銀瓶

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品
中国市場で人気がある骨董品「堆朱」

「堆朱^{ついでしゆ}」とは彫漆^{ちやうしつ}の一種です。

「彫漆^{ちやうしつ}」とは、器物の素地に色漆を何層にも塗り重ね、その色漆の層を彫刻刀で彫り込み、レリーフ状に文様を表現する「漆工技法」総称のことです。

プラスチックで模造されたものも多く、プラスチック製のものには価値がありません。

本物はルーペなどで見ると、彫の断面が漆の層になっています。

高卓以外にも、大きな置物から、花瓶や香合などの小さなものまで色々なものが作られています。



堆朱 小物



堆朱 高卓



堆朱 庭園人物紋置物

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品
中国市場で人気がある骨董品「鉄瓶」

「鉄瓶」と言うと、一般的には「南部鉄瓶」が有名ですが、価値があるものは「関西鉄瓶(京鉄瓶)」が多いです。

「関西鉄瓶(京鉄瓶)」は、造りが繊細な物が多く、日常用だけでなく茶道などにも使用できることが大きな特徴です。

「南部鉄瓶」が主に鉄だけで造られているのに対して、「関西鉄瓶(京鉄瓶)」は弦や蓋が銅製で多種のつま^{つま}みがあり、象嵌^{そうがん}等の装飾が施された物が多く、京文化の特性が反映されています。

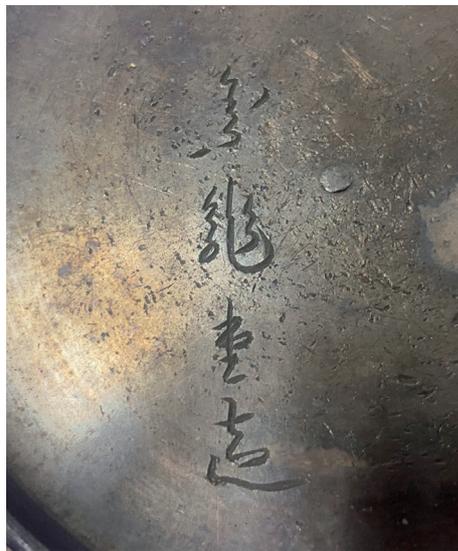
その美しい造形から鑑賞用として収集家にも人気があります。

象嵌^{そうがん}

一つの素材に異質の素材を嵌め込む工芸技法を象嵌と言います。



金龍堂 鉄瓶



龍文堂 鉄瓶



龍文堂 鉄瓶



第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品
売却先で売上が大きく変わる骨董品



拍卖结束

LOT 350 In the middle of the Qing Dynasty, the f
urnace Jun glaze binaural bottle was the sam...

起拍价: JPY 10.00万

[货币转换 >](#)



估 价: JPY 10.00万 ~ JPY 20.00万

落槌价: JPY 430.00万

4,300,000 円

骨董品や道具のマーケットには **ヒエラルキー** があります

倶楽部

美術倶楽部など

紹介制 で年間数億の取引が必要

クローズマーケット

古美術のプロのみ が利用可能

オープンマーケット

一般古物商も 利用可能

第3章 骨董品の価値

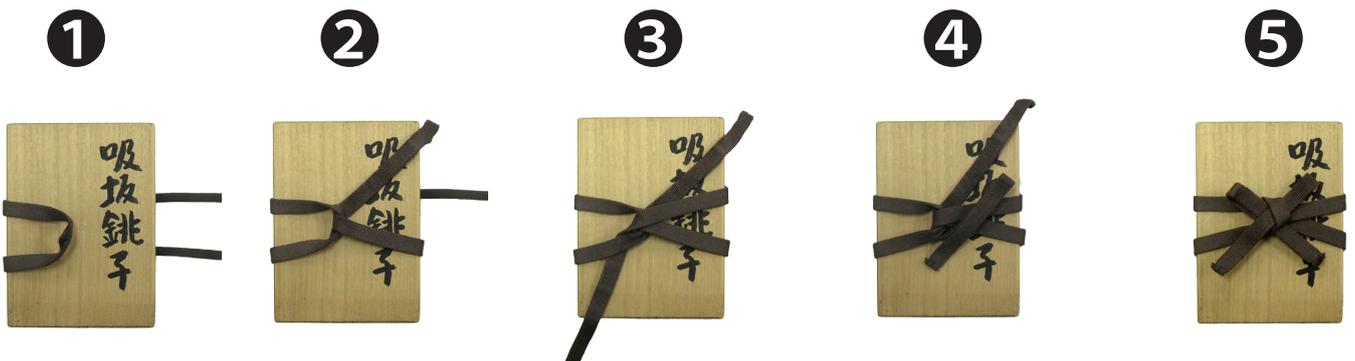
単品で価格がつく骨董品

箱紐結び方

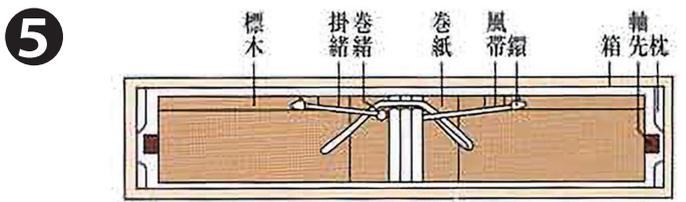
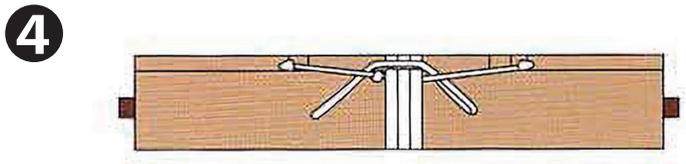
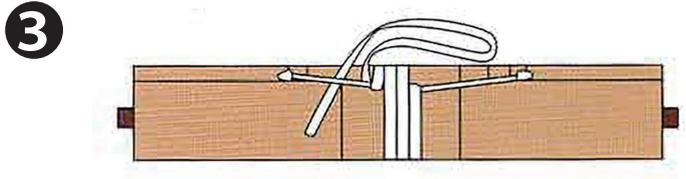
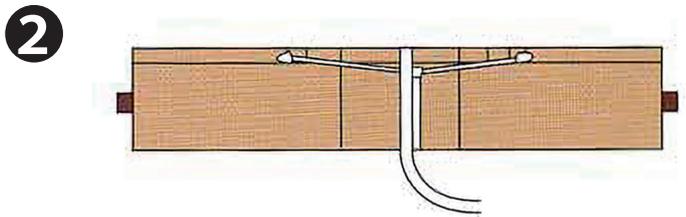
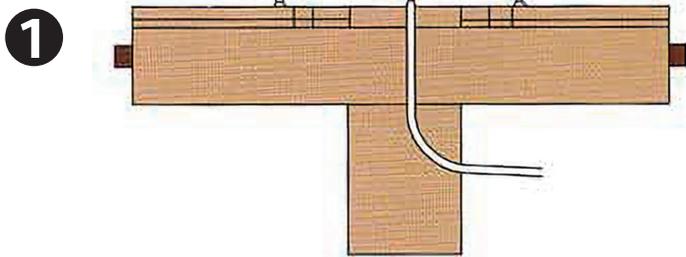
四方左掛け



つづら掛け



掛軸しまい方



第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品

刀剣の種類と部位

直刀

直刀は湾刀以前の刀で、古墳時代から奈良時代にかけて制作されました。反りがほとんどなくまっすぐ、または、わずかに内反りになっていることが直刀の特徴です。

太刀

太刀は平安時代後期（12世紀）から室町時代前期（15世紀）まで用いていたものです。反りが高く、刃長は通常2尺3寸～6寸（70～80cm）くらいです。

刀

刀は太刀に代わって室町時代中期（15世紀後半）から江戸時代末期（19世紀中頃）まで使用され、刃長は2尺（60.6cm）以上ありますが、太刀よりはやや短いです。

脇指

脇指の刃長は通常1尺（30.3cm）以上、2尺（60.6cm）以下です。小脇指と呼ばれる1尺2～3寸（36cm～40cm）のものもあります。桃山・江戸時代には「大小」といって刀の指添にし、揃えて一組にして用いられました。

短刀

短刀は長さが1尺（30.3cm）以内のもので、腰刀とも呼ばれます。また、湾刀出現以前の短刀を「かたな」と呼んでいました。

劔

両面に刃がついていて、反りのつかないものを劔と呼びます。

わんとう

湾刀

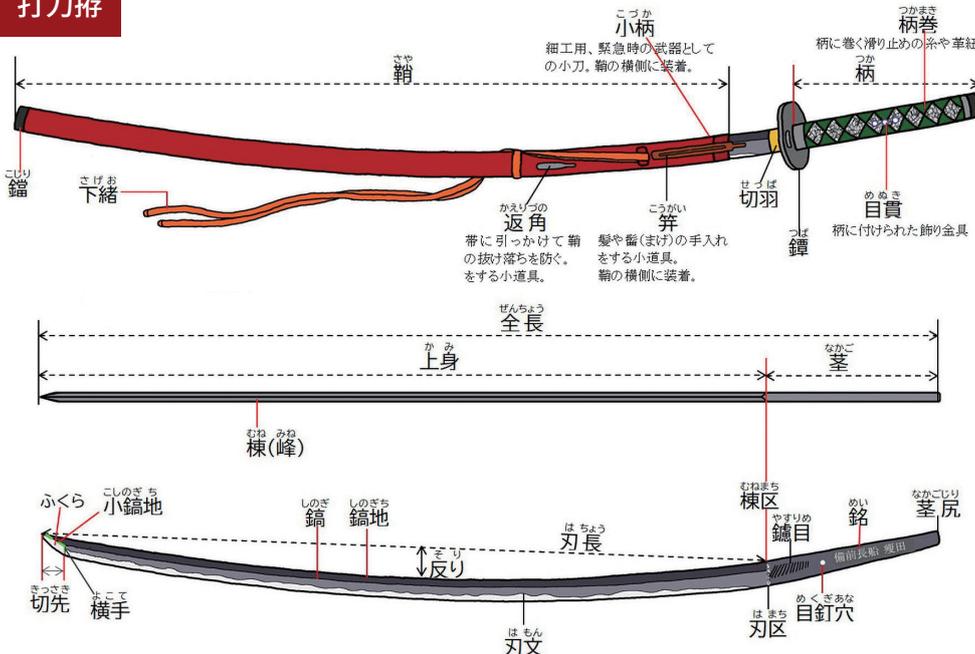
刀身の片側のみに刃があり、反りが付いているのが特徴です。曲刀と呼ばれることもあります。

さしぞえ

指添

予備に持つ短い刀を指添と言います。

打刀拵



こしらえ

拵

日本刀の外装のことを拵と言います。

うちがたな

打刀

室町時代中期以降に武士の間で広く流行した刀剣のことを打刀と言います。刃長は2尺(約60cm)以上、刀身の反りが浅いのが特徴です。

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品

中国市場で人気がある骨董品「石素材」「天然石」

中国では、石の素材を加工したもの(小物、硯など)、石仏や天然石なども人気があります。

硯は在銘や専用のケースと一体になっているものもあります。

天然石の置物も高額で取引されています。特に「靈壁石」が高額です。

逆に大理石のテーブルなどの、大きくて重量があるものは、運送費用がかさむため、あまり人気がありません。



蛤 碁石



清時代 硯山



靈壁石



靈壁石

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品
骨董品の状態と価値 / 価格の関係

陶磁器の「割れ欠け」、書画の「シミ」「カビ」「ひび割れ」、刀剣の「錆び」など、骨董品・古美術品も商品の状態で価値が大きく変わります。

揃いの数や、付属品、共箱の有無でも価値が大きく変わります。当時の木箱に入ったものか、付属品が揃っているかでも、査定金額は大きく変わります。

稀に金継ぎなどの「直し」がプラスポイントになる場合もあり、他のポイントに比べて、評価の基準が抽象的で、査定には多くの知識と経験が必要です。



陶磁器 ひび(にゅう)



書画 シミ



油彩画 ひび割れ



共箱



直し(金継ぎ)

第3章 骨董品の価値

単品で価格がつく骨董品

評価額の違い

Q 3つの鉄瓶の中で最も価値があるものはどれでしょうか？

A



B



C



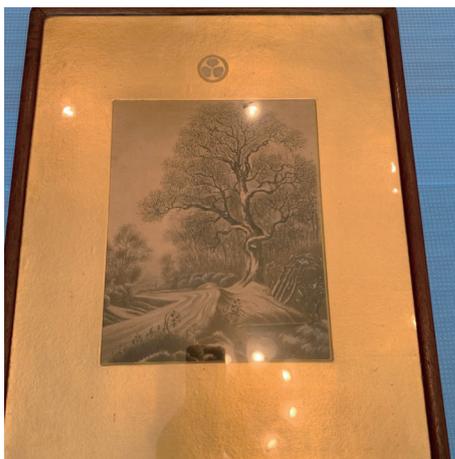
この鉄瓶の
評価額は
どれくらい？



第4章 骨董品の売値



横山 大観



徳川慶喜 画



横山 大観



徳田 八十吉



惺斎書付 菱皿



銀器セット



錫 茶入



蒔絵 文箱

第4章 骨董品の売値



平文 棗(なつめ)



沈金 文箱



螺鈿 架台



青磁 大皿



染付 花入



染付 蓋付茶碗



蛤 碁石



石もの 山

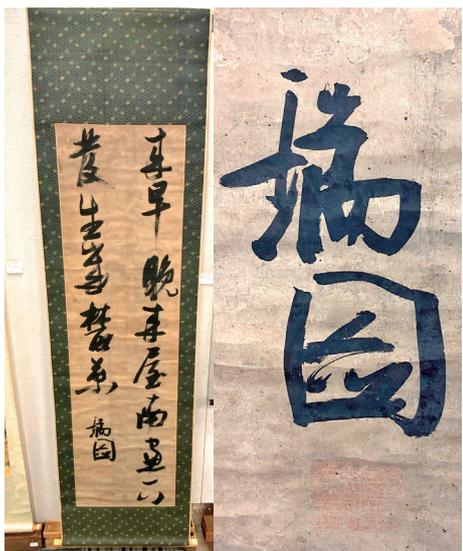
第4章 骨董品の売値



金龍堂鉄瓶



堆朱 高卓



張端園 軸



銀瓶



堆朱 小物



堆朱 庭園人物紋置物

第4章 骨董品の売値



龍文堂 鉄瓶



龍文堂 鉄瓶



清時代 硯山



靈壁石



靈壁石